

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	はびねす長岡(児童発達支援: TODAY is New Life古正寺)		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		~ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49	(回答者数) 40
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		~ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃から子どもの様子や健康状態について保護者へ伝え、情報共有が図られている点について、多くの保護者から肯定的な評価をいただいている。子どもの日々の様子を共有することで、家庭と事業所が連携して支援できる体制が整っている。	サービス提供記録や送迎時の口頭での報告等を通して、日々の活動内容や子どもの様子をできるだけ具体的に保護者へ伝えるよう心掛けている。また、職員間でも情報共有を行い、子どもの状況を共通理解した上で支援にあたっている。	写真や活動記録などを活用した情報発信や、保護者面談等の機会を通して、より分かりやすく丁寧な情報共有を行い、家庭と連携した支援体制のさらなる充実を図る。
2	個別支援計画に基づいた支援が適切に行われているとの評価が多く、子どもの特性や発達段階に応じた支援が提供されていること	定期的な支援会議や職員間の打ち合わせを通して、子どもの発達状況や課題を共有し、個々の特性に応じた支援内容を検討・実施している。	今後も支援内容の振り返りや評価を定期的に行い、保護者との連携を深めながら、より質の高い個別支援の提供に努めていく。
3	子どもが安心して通所し、活動を楽しみにしているという声が多く、事業所の環境や支援が子どもにとって安心できる場となっていることがうかがえる。	子どもの興味関心や発達段階に応じた活動プログラムを取り入れ、安心して過ごせる環境づくりを大切にしている。また、職員が子ども一人ひとりに寄り添った支援を行うよう心掛けている。	今後も活動内容の工夫やプログラムの充実を図り、子どもが楽しみながら成長できる環境づくりを継続していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域で他の子どもと活動する機会について、十分に実施できていない。	子どもの特性や安全面への配慮、感染症対策等により、地域施設との交流機会を積極的に設けることが難しい状況があった。また、交流の実施状況について保護者への周知が十分ではなかった可能性も考えられる。	今後は、子どもの状況や安全面に十分配慮しながら、地域の保育所や幼稚園、公共施設等との交流の機会について検討していく。また、地域行事への参加や地域施設の利用など、無理のない形で地域との関わりを持つ機会を検討するとともに、実施状況について保護者へ丁寧に情報発信していく。
2	保護者同士の交流の機会や保護者会等の活動について「分からない」という回答が一部見られた。	毎月保護者会(座談会)を開催しているが、保護者同士の交流機会が十分に設けられていなかったことや、周知が十分でなかった可能性がある。	保護者向けの交流機会や情報交換の場について検討し、事業所からの情報発信を工夫しながら、参加しやすい形での実施を検討していく。
3	緊急時や災害時の対応について、十分に周知されていない。	マニュアルや体制は整備しているものの、保護者への具体的な周知や説明の機会が十分ではなかった可能性がある。	避難訓練の実施状況や緊急時の対応方法について、通信や説明の機会を通して分かりやすく周知を行い、安心して利用していただけるよう努めていく。